

シングルペア線を用いた10/100Mbps VDSL2 Ethernet エクステンダセット - 1.5km

110VDSLEXT2

110VDSLEX2GB

110VDSLEX2EU



*実際の製品は写真と異なる場合があります。

DE: Bedienungsanleitung - de.startech.com

FR: Guide de l'utilisateur - fr.startech.com

ES: Guía del usuario - es.startech.com

IT: Guida per l'uso - it.startech.com

NL: Gebruiksaanwijzing - nl.startech.com

PT: Guia do usuário - pt.startech.com

最新の情報はwww.startech.comでご確認ください

FCC準拠ステートメント

本製品はFCC規則パート15のBクラスデジタルデバイスに対する制限を遵守しているかを確認する試験にて、その準拠が証明されています。これらの制限は、住居環境に設置された場合に有害な干渉から合理的に保護するために設計されています。本製品は無線周波数エネルギーを発生、使用、放出し、指示に従って取り付けられ、使用されなかった場合は、無線通信に有害な干渉を与える可能性があります。一方、特定の取り付け状況では、干渉が起きないという保証を致しかねます。本製品がラジオやテレビ電波の受信に有害な干渉を発生する場合(干渉の有無は、製品の電源を一度切り、改めて電源を入れることで確認できます)、次のいずれかまたは複数の方法を試すことにより、干渉を是正することをお勧めします:

- 受信アンテナの向きを変えるか、場所を変える。
- 製品と受信アンテナの距離を離す。
- 受信アンテナが接続されているコンセントとは異なる回路を使うコンセントに本製品を接続する。
- 販売店が実績のあるラジオ/テレビ技術者に問い合わせる。

本デバイスは、FCC規格Part 15に準拠しています。お使いの際には、次の注意事項をよくお読みください。(1) 本デバイスが有害な干渉を引き起こすことはありません。(2) 本デバイスは予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉も含め、すべての干渉を受け入れなければなりません。

StarTech.comにより明示的に承認されていない変更もしくは改変を行った場合、本デバイスを操作するユーザー権限が無効になる恐れがあります。

インダストリーカナダ準拠ステートメント

本クラスBデジタル装置はカナダのICES-003に準拠しています。

Cet appareil numérique de la classe [B] est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

CAN ICES-3 (B) /NMB-3 (B)

商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルの使用

本書は第三者企業の商標、登録商標、その他法律で保護されている名称やシンボルをウェブサイト上で使用しますが、これらは一切StarTech.comとは関係がありません。これらの使用は、お客様に製品内容を説明する目的でのみ行われており、StarTech.comによる当該製品やサービスの保証や、これら第三者企業による本書に記載される商品への保証を意味するものではありません。本書で直接的に肯定する表現があったとしても、StarTech.comは、本書で使用されるすべての商標、登録商標、サービスマーク、その他法律で保護される名称やシンボルは、それぞれの所有者に帰属することをここに認めます。

目次

はじめに	1
パッケージの内容	1
動作環境	1
製品概要	2
フロントビュー	2
リアビュー	2
サイドビュー	2
LEDインジケータ	3
インストール手順	4
ハードウェアインストール手順	4
DIPスイッチとモード設定	5
技術サポート	6
保証に関する情報	6

はじめに

パッケージの内容

- 1x Ethernet VDSL2 - トランスミッター
- 1x Ethernet VDSL2 - レシーバー
- 2x RJ45 ケーブル
- 8x ゴム足
- 2x 電源アダプタ
- 1x ユーザマニュアル
- 2x 壁取り付け用ネジおよび留め金

動作環境

- 10/100 Mbps Ethernet ネットワーク
- 利用可能な AC 電源コンセント
- RJ11 ケーブルまたは建物内の RJ11 ライン

製品概要

Ethernetエクステンダセットには、Ethernet VDSL2 トランスミッター/レシーバーユニットが2台含まれています。どちらのユニットをどちら側（送信側または受信側）に使用してもかまいませんが、個々のニーズに合わせてトラフィックの方向に基づいてDIPスイッチ設定を変更する必要があります。

デフォルトでは、2台のユニットのDIPスイッチはすべて下側（オフ）の位置に設定されています。

詳しくは、「DIPスイッチとモード設定」セクションをご覧ください。

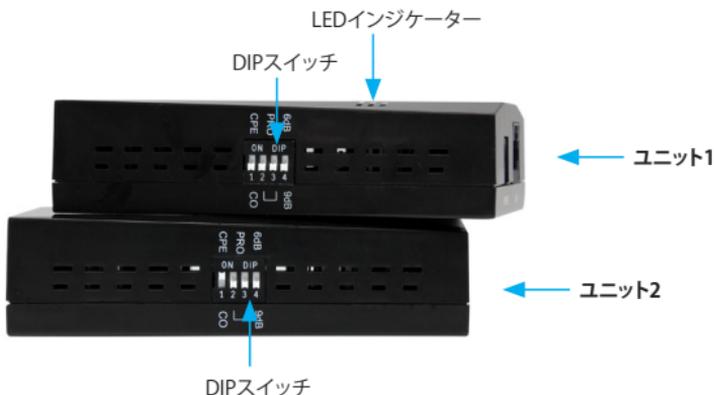
フロントビュー



リアビュー



サイドビュー



LEDインジケータ

LED (緑)	OFF	ON (点灯)	点滅
PWR (電源)	電源オフ	電源オン	NA
ETH (Ethernet)	RJ45リンク/接続なし	接続中	動作中
DSL (VDSL)	VDSLリンク/接続なし	接続中	遅い - 接続確立中 早い - 同期/動作中

インストール手順

ハードウェアインストール手順

Ethernetエクステンダセットのうち1台を「トランスミッターユニット」、もう1台を「レーザーユニット」とします。

トランスミッターユニット

- 1台のユニットをローカル側に設置し、このユニットをトランスミッターユニットとします。
- 付属の電源アダプタをAC電源コンセントとトランスミッターユニットのDC電源入力に接続します。「PWR」LEDが点灯します。
- 4つのDIPスイッチすべてを下側 (OFF) 位置に設定します。この位置することでトランスミッターユニットはCOモード (セントラルオフィスモード) になります。
- RJ45 EthernetケーブルをトランスミッターユニットのRJ45ポートに接続します。
- Ethernetケーブルのもう一方の端をEthernetネットワークデバイスに接続します (Ethernetスイッチ、モデムなど)。「ETH」LEDが点灯します。
- RJ11電話ケーブルをトランスミッターユニットのRJ11 VDSLポートに接続します。
- RJ11ケーブルのもう一方の端をレーザーユニットのRJ11 VDSLポート (または構成によってはRJ11電話線インフラストラクチャ) に接続します。

オプション: 必要に応じてDIPスイッチ2~4を設定します (詳しくは、「DIPスイッチとモード設定」セクションをご覧ください)。

レシーバーユニット

1. 2台目のユニットをリモート側に設置し、そのユニットをレシーバーユニットとします。
2. 付属の電源アダプタをAC電源コンセントとレシーバーユニットのDC電源 入力に接続します。「PWR」LEDが点灯します。
3. DIPスイッチ#1を上側 (ON) へ、残り3つの DIPスイッチを下側 (OFF) に設定します。この位置にすることで、レシーバーユニットは CPEモード (顧客構内装置モード) になります。
4. 以前に設定が完了していない場合は、トランスミッターユニットのRJ11 VDSLポートに差し込まれている (または上記手順7の設定に合わせて、既存の構内RJ11アナログ電話線に接続されている) RJ11ケーブルをレシーバーユニットのRJ11 VDSLポートに直接に接続します。
5. トランスミッターユニットとレシーバーユニットの通信に成功したら、「DSL」LEDがゆっくり点滅します。その後接続確立中に点滅が早くなり、最終的に点灯します。トランスミッターユニットとレシーバーユニットの間で通信中は「DSL」LEDが点滅を続けます。
6. Ethernet対応ネットワークデバイス (Ethernetスイッチ、モデムなど) をレシーバーユニットの RJ45ポートに接続します。「ETH」LEDが点灯します。

オプション: 必要に応じてDIPスイッチ2~4を設定します (詳しくは、「DIPスイッチとモード設定」セクションをご覧ください)。

DIPスイッチとモード設定

Ethernetエクステンダセットのユニットには4ポジションDIPスイッチが搭載されています。**ポジション:CO/CPE、プロファイル、バンド、およびSNR。**

デフォルトでは、2台のユニットのDIPスイッチはすべて下側(オフ)の位置に設定されています。

	DIP1	DIP2	DIP3	DIP4
機能	CO/CPEモード	プロファイルモード	バンドモード	SNRターゲット
ON	CPE	17a	対称	6dB
OFF	CO	30a	非対称	9dB

初期設定では一般に、DIPスイッチ1を下側(OFF)の位置に設定してCOモードに、2台目のユニットのDIPスイッチ1を上側(ON)の位置に設定してCPEモードにします。

Ethernetエクステンダセットを使用する場合、一方のユニット(トランスミッターまたはレシーバー)を「CO」(セントラルオフィス)モードに、もう一方のユニットを「CPE」(顧客構内装置)モードに必ず設定する必要があります。

Ethernetエクステンダセットが問題やエラー、途絶なく意図したとおり動作するには、トランスミッターユニットとレシーバーユニットの両方でDIPスイッチ2~4を同じ位置に設定する必要があります。

COモードとCPEモード

一般に、各ユニットをCOモードとCPEモードのどちらに設定するかは、送信する帯域幅の方向によります。「ダウンロード」帯域幅、つまりCOからCPEへデータ送信する場合は、「アップロード」帯域幅、つまりCPEからCOへデータ送信する場合よりも高帯域幅を使用します。

トランスミッターユニットからレシーバーユニットへ高帯域幅を使用して送信する場合は、送信側のDIPスイッチ1を下側(OFF)へ、受信側のDIPスイッチ1を上側(ON)に設定します。

レシーバーユニットからトランスミッターユニットへ高帯域幅を使用して送信する場合は、受信側のDIPスイッチ1を上側(ON)へ、送信側のDIPスイッチ1を下側(OFF)に設定します。

プロファイルモード

プロファイルモードとはVDSL2プロファイルのことであり、17aまたは30aを使用します。30aは長距離で高帯域幅を使用します。ネットワークの要件や要望に従って、17aでDIPスイッチを上側(ON)に、または30aで下側(OFF)に設定します。

バンドモード

バンドモードにすると、ユニットを対称モードか非対称モードに設定できます。DIPスイッチを上側 (ON) に設定して対称モードにすると、ダウンストリームとアップストリームの両方がG.997帯域で送信されます。また、下側 (OFF) に設定して非対称モードにすると、最高通信速度で非対称短距離送信が可能になります。

SNRターゲット

ユニットをSNRターゲットに設定すると、SNR比が最大6dB~9dBになります。DIPスイッチを上側 (ON) に設定するとSNR比が最大6dB、下側 (OFF) に設定するとSNR比が最大9dBになります。

技術サポート

StarTech.comの永久無料技術サポートは、当社が業界屈指のソリューションを提供するという企業理念において不可欠な部分を構成しています。お使いの製品についてヘルプが必要な場合は、www.startech.com/supportまでアクセスしてください。当社では、お客様をサポートするためにオンライン工具、マニュアル、ダウンロード可能資料をご用意しています。

ドライバやソフトウェアに関する最新情報はwww.startech.com/downloadsでご確認ください

保証に関する情報

本製品は2年間保証が付いています。

また、StarTech.comは、資材や製造工程での欠陥に起因する商品を、新品購入日から、記載されている期間保証します。この期間中、これら商品は修理のために返品されるか、当社の裁量にて相当品と交換いたします。保証で適用されるのは、部品代と人件費のみです。StarTech.comは商品の誤用、乱雑な取り扱い、改造、その他通常の摩耗や破損に起因する欠陥や損傷に対して保証いたしかねます。

責任制限

StarTech.com Ltd. やStarTech.com USA LLP (またはその役員、幹部、従業員、または代理人) は、商品の使用に起因または関連するいかなる損害 (直接的、間接的、特別、懲罰的、偶発的、派生的、その他を問わず)、利益損失、事業機会損失、金銭的損失に対し、当該商品に対して支払われた金額を超えた一切の責任を負いかねます。一部の州では、偶発的または派生的損害に対する免責または限定的保証を認めていません。これらの法律が適用される場合は、本書に記載される責任制限や免責規定が適用されない場合があります。

StarTech.com

Hard-to-find made easy®

見つけにくい製品が簡単に見つかります。StarTech.comでは、これが企業理念です。それは、お客様へのお約束です。

StarTech.comは、お客様が必要とするあらゆる接続用パーツを取り揃えたワンストップショップです。最新技術からレガシー製品、そしてこれらの新旧デバイスを一緒に使うためのあらゆるパーツ。当社はおお客様のソリューションを接続するパーツを見つけるお手伝いをしています。

当社はおお客様が必要なパーツを見つけるのを助け、世界中どこでも素早く配送します。当社の技術アドバイザーまでご連絡いただくか、当社のウェブサイトまでアクセスしていただくだけで、お客様が必要としている製品をすぐに提示します。

StarTech.comが提供しているすべての製品に関する詳細な情報はwww.startech.comまでアクセスでご確認ください。ウェブサイトだけの便利な工具をお使いいただけます。

StarTech.comは接続や技術パーツのISO 9001認証メーカーです。StarTech.comは1985年に創立し、米国、カナダ、イギリス、台湾に拠点を構え、世界中の市場でサービスを提供しています。